

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会

第1 法人の概要

1 代表者

理事長 稲葉カヨ

2 所在地

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番地 京都市男女共同参画センター内

3 電話番号

075-212-7490

4 ホームページアドレス

<http://www.wings-kyoto.jp/> (京都市男女共同参画センター)

5 設立年月日

平成5年5月24日

6 基本財産

50,000千円 (うち本市出えん額 50,000千円, 出えん率 100.0%)

7 事業目的

男女の自立と社会のあらゆる分野の活動への対等な参画を促進するため、市民の主体的な活動を喚起しながら必要な事業を展開し、男女が個人として尊重され、その能力が發揮できる、男女共同参画の理念の息づく都市、京都の実現に寄与すること。

8 業務内容

- (1) 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
- (2) 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
- (3) 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
- (4) 男女共同参画に関する相談
- (5) 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
- (6) 男女共同参画に関する施設の管理運営
- (7) その他前項の目的を達成するために必要な事業

9 所管部局

文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課 (TEL075-222-3091)

10 役員名等

(1) 理事長

稻葉カヨ

(2) 専務理事

指宿達也

(3) 理事

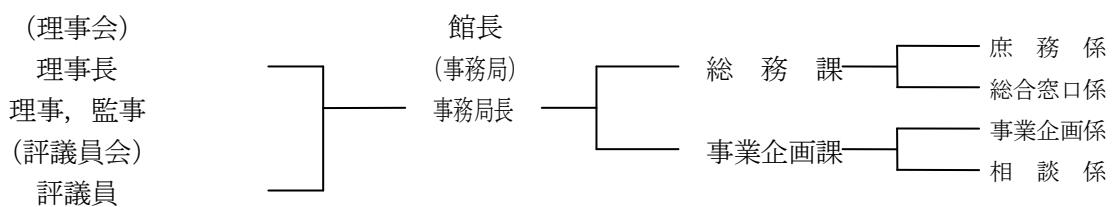
今井まゆり、大里茂美、加藤千恵、川端美智子、佐野恭子、清水智子、福田真子、水口重忠、藤田晶子、佐原啓也 (文化市民局共同参画社会推進部男女共同参画推進課長)

(4) 監事

寺西章郎、村上博保、尾崎学 (京都市文化市民局共同参画社会推進部長)

11 常勤職員数

8人 (うち本市派遣職員0人)



第2 経営状況

1 平成28年度決算

(1) 事業報告

- ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
 - (ア) 図書資料の収集と提供
 - (イ) 情報発信事業
 - ア インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook等）
 - イ 啓発誌・講座案内の発行
- イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
 - ア データブック作成
- ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
 - (ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業
 - ア 男性のための生き方講座
 - イ 男性の家事・育児参画講座
 - ウ 両立支援事業
 - (イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業
 - ア みんなで考える男女共同参画講座
 - イ 理系女子応援セミナー
 - ウ 女性活躍推進プロジェクト
 - エ 女子学生キャリア形成セミナー
 - (ウ) 教養・健康増進事業
 - ア 運動実技講座・うた講座・その他教養講座
 - (エ) 保育事業
 - ア 事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場
- エ 男女共同参画に関する相談
 - (ア) 相談業務
 - ア 一般相談・専門相談
 - (イ) 相談事業
 - ア DV被害当事者のための自立支援事業
 - イ 大学相談室派遣事業
 - (ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
 - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
 - ア 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）
 - イ センター利用者や地域との協働事業
 - ウ ピンクリボン活動啓発事業
 - エ 中京ふれあい人権講座
 - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業

- a DV・性暴力被害者支援講座
 - b DV 予防講座
 - c インストラクター及びサポートー活用事業
 - d パープルリボンの取組他
- (ウ) 人材・団体育成事業
- a 市民活動サポート事業
 - b 女性の防災リーダー育成事業
 - c 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - d 相談員養成講座
- (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外への施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

(2) 財務諸表

貸 借 対 照 表
平成29年3月31日現在

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	102,652	99,554	3,098
未収入金	2,270	1,234	1,036
前払金	44	46	△2
立替金	787	571	216
流動資産合計	[105,753]	[101,404]	[4,349]
2. 固定資産			
(基本財産)			
定期預金	20,000	20,000	0
投資有価証券	30,000	30,000	0
基本財産合計	(50,000)	(50,000)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当資産	54,493	55,788	△1,295
備品更新準備資金	8,458	3,604	4,854
20周年記念事業準備資金	0	3,127	△3,127
人材育成事業準備資金	2,770	2,118	652
図書情報室事業準備資金	1,500	0	1,500
ソフトウェア	0	479	△479
特定資産合計	(67,221)	(65,116)	(2,105)
(その他固定資産)			
建物附属設備	2,242	2,610	△368
什器備品	1,378	2,097	△719
ソフトウェア	1,480	2,287	△807
電話加入権	1,580	1,580	0
出資金	10	10	0
保証金	5	5	0
その他固定資産合計	(6,695)	(8,590)	(△1,895)
固定資産合計	[123,916]	[123,706]	[210]
資産合計	229,668	225,110	4,559
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,303	15,341	△37
預り金	672	525	147
前受金	9,132	7,468	1,663
賞与引当金	5,094	4,805	289
流動負債合計	[30,201]	[28,139]	[2,063]
2. 固定負債			
退職給付引当金	62,366	61,840	526
固定負債合計	[62,366]	[61,840]	[526]
負債合計	92,567	89,978	2,589
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[50,000]	[50,479]	[△479]
(うち基本財産への充当額)	(50,000)	(50,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(479)	(△479)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[87,101]	[84,652]	[2,449]
(うち特定資産への充当額)	(12,728)	(8,849)	(3,879)
正味財産合計	137,101	135,131	1,970
負債及び正味財産合計	229,668	225,110	4,559

正味財産増減計算書
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	268	290	△21
事業収益	213, 374	215, 245	△1, 871
受取補助金等	479	2, 248	△1, 769
受取寄付金	30	192	△162
雑収益	2, 140	1, 951	189
経常収益計	216, 291	219, 927	△3, 635
(2) 経常費用			
事業費	208, 940	226, 237	△17, 297
管理費	4, 120	4, 829	△709
経常費用計	213, 060	231, 066	△18, 006
当期経常増減額	3, 231	△11, 140	14, 371
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
法人税等	782	0	782
当期一般正味財産増減額	2, 449	△11, 140	13, 589
一般正味財産期首残高	84, 652	95, 792	△11, 140
一般正味財産期末残高	87, 101	84, 652	2, 449
II. 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△479	△2, 261	1, 782
当期指定正味財産増減額	△479	△2, 261	1, 782
指定正味財産期首残高	50, 479	52, 740	△2, 261
指定正味財産期末残高	50, 000	50, 479	△479
III. 正味財産期末残高	137, 101	135, 131	1, 970

2 平成 29 年度事業計画

(1) 事業計画の概要

- ア 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供
 - (ア) 図書資料の収集と提供
 - (イ) 情報発信事業
 - ア インターネットでの情報発信（ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook 等）
 - イ 啓発誌・講座案内の発行
- イ 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究
 - ア データブック作成
- ウ 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援
 - (ア) 真のワーク・ライフ・バランス推進事業
 - ア 男性の家事・育児参画講座
 - イ 両立支援事業
 - (イ) 企業・地域への男女共同参画推進事業
 - ア みんなで考える男女共同参画講座
 - イ 理系女子応援セミナー
 - (ウ) 教養・健康増進事業
 - ア 運動実技講座・うた講座・その他教養講座
 - (エ) 保育事業
 - ア 事業参加者の保育・施設利用者の保育・親子のふれあい広場
- エ 男女共同参画に関する相談
 - (ア) 相談業務
 - ア 一般相談・専門相談
 - (イ) 相談事業
 - ア DV 被害当事者のための自立支援事業
 - イ 大学相談室派遣事業
 - (ウ) 関係機関連携／京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付
- オ 男女共同参画に関する市民の活動の支援及び相互交流の促進
 - (ア) 地域コミュニティ活性化の促進事業
 - ア 京都市男女共同参画市民会議（ウィングス・フォーラム）
 - イ センター利用者や地域との協働事業
 - ウ ピンクリボン活動啓発事業
 - (イ) ドメスティック・バイオレンス対策事業
 - ア DV・性暴力被害者支援講座
 - イ DV 予防講座
 - ウ インストラクター及びサポーター活用事業
 - エ パープルリボンの取組他
 - (ウ) 人材・団体育成事業
 - ア 市民活動サポート事業
 - イ 女性の防災リーダー育成事業
 - ウ 共催・後援事業／講座受講生のグループ育成
 - エ 相談員養成講座
 - (エ) 目的利用団体に対する施設管理業務
- カ 目的利用団体以外に対する施設管理業務
- キ 公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営

(2) 予算

正味財産増減予算書
平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	250	250	0
事業収益	212,520	212,560	△40
雑収益	2,800	2,500	300
経常収益計	215,570	215,310	260
(2) 経常費用			
事業費	210,501	227,791	△17,290
管理費	5,069	6,138	△1,069
経常費用計	215,570	233,929	△18,359
当期経常増減額	0	△18,619	18,619
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△18,619	18,619
一般正味財産期首残高	59,641	78,260	△18,619
一般正味財産期末残高	59,641	59,641	0
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	△540	540
指定正味財産期首残高	50,000	50,540	△540
指定正味財産期末残高	50,000	50,000	0
III. 正味財産期末残高	109,641	109,641	0

(参考1) 財務状況の推移

(単位:千円)

		H26(決算)	H27(決算)	H28(決算)	H29(予算)
正味財産増減計算書	経常収益	222,274	219,927	216,291	215,570
	当期経常増減額	△9,033	△11,140	3,231	0
	当期正味財産増減額	△11,094	△13,401	1,970	0
貸借対照表	総資産	244,759	225,110	229,668	/
	総負債	96,227	89,978	92,567	
	正味財産	148,532	135,131	137,101	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		H26(決算)	H27(決算)	H28(決算)	H29(予算)
委託料	男女共同参画センターの管理運営(指定管理)	185,170	180,000	180,000	180,000
	男性のためのDV電話相談及びDV予防講座事業	960	960	960	
	DV被害者支援インストラクター及びサポートー活用事業	950	850	100	
	ウィングス京都開館20周年記念事業「女性の活躍推進シンポジウム」	1,000			
	「京で輝く!女性活躍推進プロジェクト」			1,882	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	・ 平成25年度から3期連続の赤字決算となっていたが、経費節減及び受託事業の確保に努めた結果、平成28年度は黒字を確保したことは評価できる。
事業面	・ 安定した事業の実施や相談体制の構築ができている。 ・ また、平成28年度は、年間利用者数が平成27年度に引き続き目標を上回り、施設稼動率についても高い水準を維持しており、安定した運営が実現している。

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	・ 自主事業の充実、受託事業の確保等への取組に加え、積極的な経費節減により、4期ぶりに当期正味財産増減額を黒字化したことは評価できる。
事業面	・ 施設の目的に沿って、引き続き、男女共同参画センターの適切な運用に努めるとともに、自主事業の充実等による自主財源の確保に取り組み、安定した収益基盤を確立してほしい。